

令和6年度 5年2組 1学期 学級経反省

担任 川添 雅寛

1 こんな学級づくり（週報第1号より）

今年の週報のタイトルは「何度でも」です。これには、次のような意味が込められています。

人は	でも人は	何度でも
何度も失敗し	何度もリトライし	チャンスがあり
何度も挫折し	何度も前を向き	何度でも
何度もうまくいかず	何度も夢を見て	チャレンジできる
何度も悔しい思いをし	何度も成功を願い	そう何度でも
何度も心が苦しくなる	何度も心を奮い立たせる	

子供たちの中に、「何度でも」という強い心が育つようにという願いを込めています私自信も、子供たちと何度でも向き合い、何度でも声をかけ、何度でも寄り添いたいと考えています。

今年はとにかく頑張る一年にしてほしい。頑張ることのできた達成感是十分に味わってほしい。そんな願いを込めて週報のタイトルを決めました。この願いを強くもち過ごした1学期。子供たちは本当によく頑張っています。ときには分からない問題にぶつかり挫けそうになったり、友達と喧嘩して不安になったりすることもあります。しかし、そんなときでも何度も挑戦し分からない問題の壁を乗り越えたり、納得するまで何度も話し合いお互いの気持ちを理解したりしながら日々成長する姿を見ってきました。どの子供も素晴らしい才能と可能性を持っています。その子供たちをどこまでも伸ばしてあげられるように1学期も残りわずかですが全力で頑張っていきます。

2 1学期の学級経営の振り返り

【学習面】

- ◎ 授業に意欲的に取り組む子供が増えてきました。進んで問題を解いたり、友達と意見交換をしたりする姿はこの1学期間で非常に良くなりました。私は、学力は学びに向かう力（関心・意欲）が高ければ高いほど身につくと考えています。この調子で2学期も頑張ってください。
- ◎ 単元テスト（国語・社会・算数）の学級平均点85点以上という目標を達成しました。子供たちの日々の授業や家庭学習の取り組み、問題に線を引きながら丁寧に解く習慣などの成果だと思います。これからはできなかった問題を大切にしながらしっかりと復習をさせていただきます。2学期は、学級平均点90点以上をみんなで目指します。
- △ 字を丁寧に書く習慣を見に付けてほしいです。国語の単元テストの漢字は非常に丁寧にきれいで整った字で書くことができます。その字を普段から書けるように今後も指導を続けていきます。特に、初めて解く問題・あっているか不安な問題や何度も書く自分の名前の字形が崩れる傾向にあります。ご家庭でもお声掛けいただけるとありがたいです。

【生活面】

- ◎ 「3分前行動1分前着席チャイム黙想」を学級の7割の子供ができるようになりました。また、時計を見て行動できる子供や声掛けをしてくれる子供が増えてきました。時間を守ることは今後生きていく上で大切な能力です。徹底して2学期は全員が守れるようにします。
- 係活動や委員会活動、朝のボランティアなどの活動を一生懸命頑張っています。5年2組は誰かのために動くことができる子供、困っている人がいたら声をかけられる子供が多いように感じます。一方で、高学年になり心の発達とともに恥ずかしさや面倒臭さから中々活動できない子供もいます。これからも、良い習慣や行動の輪を学級の中でどんどん広げて、学級のために、学校のために考えることができる子供たちになるように声掛けを継続して行います。
- △ 言葉遣いが気になります。友達との会話の中で、言葉遣いや相手の気持ちを損ねるような言葉を使うことによりトラブルになることが多々あります。悪口や陰口などの相手が嫌がることを言うことは心への暴力だと教えています。殴る蹴るなどの暴力がいけないことは子供たちもよく分かっています。それに合わせて、相手の気持ちに配慮した言葉の使い方を継続して教えていきます。

5年2組 メンバー

1 石ヶ崎 華凜	11 空地 桂虎	21 福澤 柚
2 上之原 百助	12 東山崎 優空	22 福德 湊永
3 宇都口 勇矢	13 富松 希	23 藤田 獅
4 榮倉 勇誓	14 中村 華	24 古川 瑞葵
5 榎原 愛莉	15 中村 瑠良	25 堀本 一華
6 大藺 優衣菜	16 西 泰晟	26 前川 優理音
7 岡留 玲菜	17 西野 向日葵	27 村尾 煌河
8 鎌下 翼	18 西平 龍ノ介	28 四元 聡和
9 川路 璃咲	19 野口 姫	29 渡邊 航
10 崎森 ねね	20 原口 桜太朗	

～新たな旅立ち 子どもたちへ～

今年度はこのメンバーで楽しくがんばっていきます。4年生から5年生になるにしたがって、寂しい別れもあれば、嬉しい出会いもあります。それぞれにどんな個性があり、一年間でどんな成長を見せてくれるのかワクワクします。一年後6年生になるときに、「5年2組で良かった。本当に成長できた一年だった。」といえるように全員で力を合わせて楽しみながら、がんばっていきましょう。

